

# 青空



令和4年度  
No.13  
3月1日号

## 温かい言葉と心があふれた「六年生を送る会」

校長 城内 千恵美

氷点下まで気温が下がる日が続き例年よりも雪の多い日々でしたが、厳しい寒さもようやくゆるみ始め、日差しの柔らかさに少しづつ春の気配が感じられるようになってきました。早くも三月を迎え、今年度も残すところあと一ヶ月となりました。

さて、二月二十五日(土)には、子どもたちにとって大切な行事である「六年生を送る会」を予定通りに開催することができました。

この日に向けて、一年生から五年生までの子どもたちは、これまでお世話になった六年生に感謝の気持ちを伝えるために、一生懸命に準備を進め取り組んできました。当日は、その頑張りを存分に発揮し、歌や呼びかけ、劇や合奏等それぞれに工夫した表現で力いっぱい発表しました。毎日通学班のみんなが安全に登下校できるようにと頑張ってくれた六年生。優しく声をかけて色々なことを教えてくれた六年生。委員会活動やクラブ活動で中心となって活躍していた六年生。六年生との様々な思い出を振り返りながら、心を込めて「ありがとう」の気持ちを届けました。

そして、この一年間園部第二小学校のリーダーとして全校を引っ張ってきた六年生は、小学校生活を振り返りながら自分達の学びや成長を発表するとともに、園部第二小学校の伝統である和太鼓演奏を堂々と披露しました。その姿は生き生きと輝き、自己成長の喜びと中学校へと歩み出していく力強さを感じました。

また、この会を企画・運営した五年生は、全校の中心となって数多くの準備を積み重ねてきました。「『六年生を送る会』を成功させたい」という熱い思いをもって、みんなで様々なことを創り上げ頑張ってきた日々やこの日得られた達成感は、五年生にとって大きな自信となり、最高学年へと向かう大きな力になったことと思います。「六年生を送る会」の最後には、六年生から五年生へと通学班や和太鼓、委員会等の大切なバトンが渡され、園部第二小学校のよき伝統がしっかりと引き継がれていくことを実感しました。

子どもたちが学年を超えて互いのことを思い合い、たくさんの思い出と感謝の気持ちの中で、温かい言葉や心があふれる「六年生を送る会」となりました。子どもたちのつながりをさらに深めることができた素敵な時間であったと思います。同時に、それぞれの学年の子どもたちの成長と、次の学年へと向かう確かな歩みを感じることができました。

いよいよ卒業証書授与式や修了式まであと三週間余りとなり、子どもたちが園部第二小学校の仲間として一緒に過ごす日も残り少なくなりました。「卒業・進級」の日まで一日一日を大切に、子どもたち一人一人が自分のよさを輝かせながら一年間の締めくくりがしっかりとできるよう努めてまいりたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様のご支援助とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## PTAより寄贈していただきました

PTAより、教室等で使用する「コードレス掃除機(2台)」、児童の机脚調整等で使用する「インパクトドライバ(1台)」、「予備バッテリー(2個)」を寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。会員の皆様、ありがとうございます。



## 学校運営協議会より

昨年度より「あいさつなど、温かい言葉を交わせる子」を「育てたい『その二つ子』」の姿として活動を進めています。現在、地域・家庭・学校のつながりをさらに深めるとともに、連携・協働しながら「あいさつ」や「温かい言葉」を広げていくことができるよう『その二つ子カレンダー』を作成しているところです。後日配布させていただきますので、今後も引き続き、本会の活動へのご協力をお願いします。

## 6年生を送る会

2月25日(土)に、6年生を送る会を実施しました。送る会は、6年生に感謝の気持ちを伝える会として、来年度リーダーになる5年生が中心となって準備を行いました。当日は、各学年の子どもたちが発表を通して、お世話になったことへの感謝の気持ちを伝え、また、4月から始まる中学校生活へのエールを送ることができました。

今年度の送る会も、各学年とも様々な工夫を凝らした発表となり、温かい雰囲気に包まれたすばらしい会となりました。





# 令和4年度 園部第二小学校 「学校経営計画(スクールのマネジメントプラン)」

令和4年度の本校の教育活動・学校運営につきまして、保護者の皆様にご協力いただきましたアンケート（「学校だより2月号」に掲載）や、児童、教職員のアンケート、学校運営協議会等での意見により学校評価を行いました。学校ホームページには、今後「南丹市学校自己評価書」も掲載しますので併せてご覧ください。今後も引き続き、家庭や地域の皆様との連携・協働による学校づくりを進めて参ります。

## 令和4年度 南丹市立園部第二小学校 学校経営計画(スクールのマネジメントプラン)

学校教育目標	学校の現状分析	学校経営方針(中期経営目標)		
<p>【園部中学校ブロック】ふるさとを愛し、夢をかなえるために、知力・心力・体力の向上を目指すそのべっ子の育成</p> <p>【園部第二小学校】 「やさしく かしく たくましく」 ～豊かな人間性と確かな学力を持ち、心身ともにたくましい児童の育成～</p> <p>＜めざす学校像＞ 「一人一人が輝き、ともに学び、育ち合う学校」</p> <p>＜めざす児童像＞ ◇思いやりのある子 ◇目標に向かって努力する子 ◇心身ともにたくましい子</p> <p>＜めざす教職員像＞ ○児童一人一人の深い理解 ○豊かな人間性と高い授業力 ○自らを磨き、学び続ける中で高まり合う意欲と創造力 ○組織的な協働体制</p>	<p>&lt;児童の実態&gt; ◇良い点◇ ・全体的に明るく、元気に活動できる。 ・学習や様々な活動に積極的に取り組むことができる。 ・課題や自分の役割に対して、真面目に取り組むことができる。</p> <p>◇さらに伸ばしたい点◇ ・自己肯定感や自己有用感 ・主体的に学びに向き合う力と対話的な学びの深まり ・夢をもち、主体的に将来を切り拓く力</p> <p>[学校・地域の協働体制] ・熟識を深め、地域全体で児童をはぐくむための協働体制の充実と具体的な行動化を進めている。</p>	<p>◇人権尊重を基盤として◇ ○豊かな人間性の育成 ○確かな学力の育成 ○たくましい体づくり ○地域とともにある学校づくり</p> <p>知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図り、予測困難な時代をたくましく、しなやかに生きぬく力を身に付けさせる。 (1)一人一人の人権を大切に、自他を尊重する態度や実践力の育成と自己肯定感を高める取組の充実 (2)個々のよさや可能性を最大限引き出し、「主体的・対話的で深い学び」をうみ出す学習活動の推進 (3)健康安全・防災・災害等についての理解を深める取組の推進と、自ら考え、進んで行動できる実践力の育成 (4)学校・家庭・地域が協働して取り組む「地域道徳」と「地域とともにある学校づくり」の推進</p>		
学校経営の重点(短期経営目標)	成果	評価	課題	改善策等
1 一人一人の人権を大切に、自他を尊重する態度や実践力の育成と自己肯定感を高める取組の充実 (児童アンケート「①自分によいところがあると思う」と答える児童85%以上、「②友達を大切にしている」と答える児童90%以上)	○毎月の「人権デー」において、自分や友達の良さに目を向ける取組を積み重ねることができた。 ○A評価児童が増加し(87.5%)、友達を大切にしようとする態度が育ってきている。 ○様々な視点から教職員研修を積極的に進めることができた。 ①【児童】84.0% ②【児童】99.0%	A	○「自己肯定感」「自己有用感」を高める取組について見直しを図り、児童への肯定的評価を重視しながらさらに工夫した取組を進める必要がある。	○人権学習のより一層の充実を図るとともに、ねらいを明確にしながらか人権学習と様々な取組をつなぎ、深める。
2 日々の児童理解や全校一致した指導を重視し、いじめをはじめとした人権侵害を許さない温かな仲間づくりの推進 (保護者アンケート「③友達と仲良くしたり、思いやりをもって人と接したりすることを大切に指導している」肯定的評価95%以上)	○定期的に児童の実態交流を行い、共通理解のもとで指導の充実を図るとともに、様々な課題に組織的に対応し早期に解決することができた。 ○児童の変容やサインを見逃さず、人権侵害を許さない姿勢を重視しながら、児童への指導を行ってきた。 ③【保護者】97.9%	B	○全教職員の十分な連携のもとで、今後も全校体制で取り組めるよう組織力を強化したい。 ○児童の実態をもとに重点的に指導していくことを決め、取組を進める。	○児童相互のつながりをさらに深めるために、温かな仲間づくりのための児童発の取組を計画的に進める。 ○生徒指導の3機能を生かした積極的な指導を行う。
3 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりと授業力の向上 (児童アンケート「④授業の中で、自分で考え、友達と考えを深めるのが楽しい」と答える児童90%以上、教職員アンケート「⑤ICT機器を効果的に活用し、自分の考えを広げ深める対話的な学びの実現のための様々な工夫を行っている」肯定的評価90%以上)	○A評価児童が増加し(62.0%)、友達と考えを伝え合い深め合う楽しさが実感できるようになってきている。 ○児童の操作スキルの向上が学びの深まりにつながっている。 ○ICT機器を効果的に活用し、教職員が学び合いながら授業力向上のための研修を積極的に進めることができた。 ④【児童】94.0% ⑤【教職員】93.3%	A	○学び合いを深めるための授業のコーディネート力や児童の話す力を一層伸ばしていきたい。 ○ICT活用を対話の深まりにどのようにつなげていくか、さらに研修を深める。	○ICT機器の効果的な活用と対話を生み出す手立てを明確にしながらか授業を組み立てる。 ○「対話的な学び」についての協議を深め、焦点化を図る。
4 学校・家庭・地域がともに児童の道徳性を育成する「地域道徳」の推進と、地域を深く学ぶ学習や地域学校協働活動の充実 (児童・保護者アンケート「⑥家や近所、学校で進んで挨拶をしている」肯定的評価85%以上、保護者アンケート「⑦地域・家庭と協働した地域道徳の推進」肯定的評価90%以上)	○計画的に「親子道徳」の取組を進め、ともに子どもたちを育てていこうとする機運が高まった。 ○「目指す子ども像」の焦点化を図り、全学年で「親子道徳」を実施し、「あいさつ」について考え合うことができた。 ○地域の「人・もの・こと」を生かした学習の充実を努めてきた。 ⑥【児童】90.0%・【保護者】80.7% ⑦【保護者】96.5%	B	○「地域道徳」の充実に向けて、教科領域・他の活動と関連付けた道徳科の授業計画を立てる。 ○家庭・地域への啓発を積極的に進める。 ○「育てたい『その二つ子』」をもとに熟議をさらに深め、「あいさつ」「温かい言葉」を重視した取組を継続して進める。	○各学年の学習とリンクした取組内容を再構築し、年間計画に明確に位置付ける。 ○「育てたい『その二つ子』」をもとに熟議をさらに深め、「あいさつ」「温かい言葉」を重視した取組を継続して進める。
5 「業務の省力化・効率化」の推進による教職員の自己研鑽と澁刺と児童と向き合う時間の確保 (教職員アンケート「⑧業務の省力化・効率化により自己研鑽に励む時間等の確保ができた」と答える教職員85%以上)	○業務の効率化を目指しながら、日々の教材研究を丁寧に行うなど、業務改善についての意識は高い。 ⑧【教職員】53.4%	C	○昨年度より達成目標のレベルを上げたため、数値は下がっている。再度業務の見直しを行い、取組の具現化が必要である。	○新たな視点をもって業務改善に努め、自己研鑽に励む時間の確保のための工夫を積極的に進める。

## 令和5年 3・4月の行事予定

### 3月

2日(木)	6年 感謝の会(1・2校時) 代表委員会(ロング昼休み)	4日(火)	令和4年度 離任式
3日(金)	*R4・5 PTA会計引継会(18:30) *R4・5 PTA本部役員引継会議(19:30)	6日(木)	*PTA本部役員会 19:00
6日(月)	児童委員会	10日(月)	令和5年度 着任・新任式 第1学期始業式
7日(火)	6年 交通安全教室	11日(火)	令和5年度 入学式
8日(水)	計算大会	12日(水)	短縮4校時授業 ※13日(木)まで 地域児童会
9日(木)	短縮校時 開始 漢字大会	13日(木)	*PTA学年委員選挙開票(4・5・6年) 19:00 *PTA学年委員選挙開票(1・2・3年) 19:00
13日(月)	児童集会	14日(金)	*PTA本部役員会 20:00
14日(火)	6年 オペラ鑑賞(小澤征爾音楽塾) ※お弁当	17日(月)	通常校時・給食開始
15日(水)	地域児童会	21日(金)	児童委員会 *PTA学年・専門合同委員会 19:00
16日(木)	卒業式 予行	28日(金)	*PTA運営委員会 19:00
20日(月)	給食最終日		授業参観(1・2校時) PTA和太鼓サークル「小山太鼓」発表(中間休み)
22日(水)	1～4・6年 短縮3校時(11:15下校) 5年 卒業式準備(12:00下校)		*PTA総会 10:50
23日(木)	令和4年度 卒業証書授与式		
24日(金)	令和4年度 修了・進級式 短縮3校時授業(11:45下校)		

### 4月

3月1日時点での計画ですので、今後、変更することもあります。ご了承ください。

